

高橋 慶吉
法学研究科・教授

[研究]

22年度は、基盤研究(C)「台湾海峡危機と日米同盟」の1年目に当たる年度であった。外交史料館に7度出張で出向き、外務省資料の調査、収集を行った。

また、アメリカ大統領図書館に関する研究も行った。これは、数年来、共同研究として進めているもので、今年度、大阪大学出版会から本を出版する予定である。

時事問題を扱う短い評論・エッセイを6篇、発表した。

[教育]

22年度は、全学教育推進機構の科目として「国際社会における法と政治」を担当するとともに、法学部の「外交史」と「法政基礎演習」、「演習」、法学研究科の「国際政治学概論」と「国際政治学特殊講義」、「総合演習(日米関係論)」を担当した。また、博士前期課程の学生1人の担任教員として、修士論文の指導に当たった。

[管理運営]

大学院教務委員会の委員長を務めた。委員や教務系の協力の下、例年の業務に加え、さまざまな新たな取り組みを行うことができた(海外提携先のリスト化とリスト公表、学振DC/PDの調書閲覧を可能にする取り組み、入試問題のネット公表の決定、公募書類の書き方セミナーの実施など)。

計画室室員、運営委員会委員、グローバル日本学教育研究拠点の運営委員会委員として会議に参加した。

青雲会の学内幹事を務めた。2, 3カ月に1度開催される幹事会に出席するとともに、就職支援のための座談会を2回開催した。また、卒業祝賀会を企画した。

[社会貢献]

特になし